

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 66

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



技術向上に向けた取り組み ～移動式施設でのトレーニング～



長年当院を支えてきた医師
～退職にあたって～



Index

- P1 長年当院を支えてきた医師 / 移動式施設でのトレーニング
- P2 長年当院を支えてきた医師 ～退職にあたって～
- P3 技術向上に向けた取り組み ～移動式施設でのトレーニング～
- P4 診療科紹介「消化器内科」
- P5 ドクターズカルテ、研修医紹介
- P6 愛媛県立中央病院の外来診療を「LINE」でスマートに！
- P7 「愛媛の医偉人」コーナーのご紹介
医療安全管理部だより No.57
転入・転出医師（2024.12.1～2025.3.15）
- P8 連携医療機関紹介 ～第37回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2025年3月15日発行



愛媛県立中央病院

長年当院を支えてきた医師



～退職にあたって～

愛媛県立中央病院
副院長 脳神経外科

おおうえ しろう
大上 史郎



私は、1984年に愛媛大学医学部を卒業後、愛媛大学脳神経外科に入局しました。

当時の脳神経外科は、手術用顕微鏡が全国に普及し、顕微鏡下手術の黎明期でした。くも膜下出血に対して、欧米では、待機して手術を行うことが主流でしたが、日本では、現在のように、出血後早期にクリッピング術を行う早期手術が始まっていました。

私自身、高校生の時に、祖母がくも膜下出血を起こし、手術を待機している時に、再破裂により亡くなった経験がありますが、祖母も発症が数年遅れていたら助かっていたかもしれません。

その後、大学院での研究生活や貞本病院・愛媛大学病院での勤務を経たのち、2016年4月愛媛県立中央病院に着任しました。

医学部卒業後の最大の転機は、2005年からの2年間、アメリカのデューク大学の福島孝徳教授の元へ留学させていただいたことです。福島孝徳教授は昨年亡くなりましたが、留学中には、多くの頭蓋底外科手術を直接見学でき、さらに、頭蓋底外科解剖の勉強もさせていただき、この経験は私にとって大きな財産となりました。

留学後、約2,000件の脳神経外科手術に関わり、その3/4の約1,500件の手術は頭蓋底腫瘍を中心とした脳腫瘍の手術となっています。

脳神経外科手術は、現在までに、手術用顕微鏡だけでなく、カテーテルを用いた血管内手術、神経内視鏡による新たな手術法、高性能3Dカメラによる外視鏡手術の登場もありました。さらに、超音波手術器や手術用ナビゲーション、術中脳機能モニタリングなどの手術支援機器も急速に進歩しました。今後、さらなるテクノロジーの発展により、新たな脳神経外科手術が行われることでしょう。

本年3月をもって定年退職となりますが、これまで関わりをもっていただいた多くの方々に感謝し、退職のご挨拶とさせていただきます。



training

技術向上に向けた取り組み ～移動式施設でのトレーニング～

2025年1月、トラック型の移動ラボ:MTL（モバイルトレーニングラボ）が来院し、当院医師らがリードレスペースメーカーの手術の流れを経験しました。

シリコン製人体模型の模擬心臓に対して、実際に用いるカテーテルを挿入し、手術室のリアルな現場を再現してトレーニングを行いました。また、通常の手術に加え、トラブルが起こった際の対処法も含めて、様々な事象を想定した手技を経験しました。



▲モバイルトレーニングラボ外観



▲トレーニングの様子

ペースメーカー治療について

ペースメーカー治療は、心拍が遅くなるタイプの不整脈に対する治療法です。通常よりも脈が遅くなると、めまい、ふらつき、息切れ、意識消失などの症状をきたします。

従来のペースメーカーは、本体を鎖骨の下に皮下に植え込み、リードと呼ばれる導線を心臓の中に挿入します。ペースメーカーも徐々に小さくなりつつはありますが、やはり皮膚の上から触ればわかりますし、植え込んだ側の腕を動かす際にやや違和感を感じられる方もいます。また、人によってはペースメーカーのリードを挿入する血管がなく、従来型のペースメーカーが挿入できない方もいます。

2017年9月より、リードレスペースメーカーが保険適応されました。

リードレスペースメーカーは、本体から心臓までを繋ぐリードがなく、心臓内に直接本体を留置します。大きさは10円玉程度で、非常に小さいのが特徴です。右鼠径部の血管より、カテーテルを用いてペースメーカー留置を行います。従来型のように鎖骨下の皮膚の下に本体を置かないため、見た目では分かりませんし、リードがないため感染にも強いといわれています。

もちろん、全ての方にリードレスペースメーカーが最適であるというわけではありませんが、患者さんにとって最適となりうる選択肢の1つであることは間違いありません。（文責：香西祐樹）



当院では、こういったトレーニングの機会を定期的に設けることで、安心安全な医療を行うことができるよう努めております。今後も患者さんにとって最適となる手術を提供できるよう、スタッフ一同精進してまいります。

診療科紹介 消化器内科



消化器内科では、消化管、胆膵、肝臓に関わるさまざまな病気に対して、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を行っています。当科は地域の中核病院として、最新の医療機器と専門知識を活かし、迅速で適切な診断と治療を提供しています。

① 消化管疾患の診療（領域責任者：壺内）

食道、胃、大腸といった消化管の病気には、がんや潰瘍、炎症性腸疾患（クローン病や潰瘍性大腸炎）などがあります。当科では、内視鏡検査を中心とした精密な診断を行い、早期発見・治療に努めています。特に、早期胃がんや大腸がんの内視鏡治療（ESD や EMR）を得意としており、体に負担の少ない治療を目指しています。

② 胆道・膵臓疾患の診療（領域責任者：宮田）

胆石や胆のう炎、膵炎、膵がんなどの病気は、早期の診断と治療が重要です。当科では、超音波内視鏡（EUS）や内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）といった高度な技術を用いて、正確な診断と治療を行っています。また、胆道や膵臓の治療後には丁寧なケアを心がけており、患者さんが早く日常生活に戻るようサポートしています。

③ 肝疾患の診療（領域責任者：平岡）

肝臓の病気には、肝炎、肝硬変、肝がんなどがあります。当科では、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療や、肝硬変の進行を抑える治療を行っています。肝がんに対しては、放射線科・外科と連携した治療を実践しており、ラジオ波焼灼術（RFA）や動脈塞栓術（TACE）などの低侵襲治療、全身薬物療法を中心に、患者さんの負担を軽減しつつ効果的な治療を提供しています。

患者さんと地域をつなぐ医療

当科では、患者さんご家族が安心して治療を受けられるよう、分かりやすい説明と丁寧なケアを心がけています。また、地域の医療機関と連携し、必要な検査や治療を迅速に進める体制を整えています。愛媛の地域医療を支える一員として、これからも質の高い医療を追求してまいります。

ぜひお気軽にご相談ください。



▲治療・検査の様子

脳神経内科の大坪治喜と申します。出身は鹿児島県で、高校まで鹿児島で過ごしました。2015年に愛媛大学を卒業した後、愛媛大学臨床薬理学・脳神経内科に入局しました。愛媛県内の病院で数年勤務後、2018年から神奈川県の病院の脳卒中センターで4年半勤務し、2023年4月より当院で診療しています。

神経内科疾患は幅広く診療しておりますが、なかでも脳卒中診療および脳血管内治療（血栓回収療法、頸動脈ステント留置術、脳動脈瘤コイル塞栓術などのカテーテル治療）を専門としております。愛媛の脳卒中診療に貢献したいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。脳卒中、神経内科疾患等でお困りの際はいつでもお気軽にご相談ください。

私生活では愛犬との散歩を日々楽しんでおります。今後は体力作りもかねて、登山などのアクティビティにも積極的に取り組んで行きたいと思っております。



▲愛犬との散歩



▲脳神経内科メンバー（左端）

当院の研修医を紹介します

1 年次研修医 ちくご 筑後 聡一郎医師

Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

休日にはドライブで県内のいたるところに出かけています。大学生の時にお城巡りが好きになり、県内のお城を何度か訪問しています。また、温泉も好きで、疲れがたまってきたら市内の温泉でリフレッシュしています。

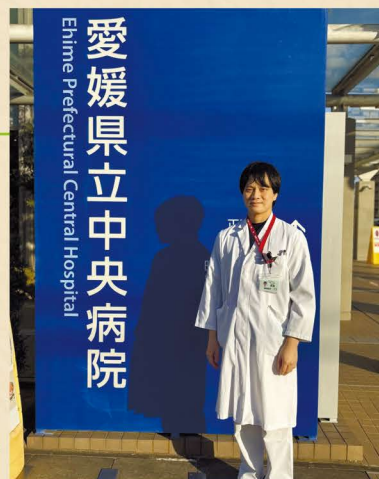
日頃気を付けていることは何ですか？

睡眠時間は意識して気を付けています。当直に入ると睡眠周期も変わり次の日まで疲れが残っていることもありますが、できるだけ疲れを残さないよう休めるときにしっかり休むことを心掛けています。

今後の目標は何ですか？

研修医として働き始めて、もう1年が終わろうとしています。まだまだ未熟な点が多いですが、上の先生方や同期の先生に助けられながら、日々成長しております。さらにレベルアップし、一日でも早く1人で患者さんをしっかりと診ることができる医師になれるよう、努めていきます。

病院前で
パシャリ▶



▲同期と大洲城へ

愛媛県立中央病院の 外来診療を「LINE」でスマートに！

お呼び出し状況が「LINE」でわかる！

当院では、2021年9月より【LINEによる呼び出し状況通知サービス】を導入しています。また、2024年2月より、採血室もサービスを開始しています。

このサービスは、採血・診察・会計をお待ちの患者さんへ、待ち時間などの状況を LINE で通知するシステムで、車の中やカフェ、食堂などで待つことができるようになります。一度診察券を登録していただくと、次回以降の来院時にも、採血・診察・会計の進捗状況が自動的に患者さんの LINE に通知されます。次回以降の診察内容の確認や、診察の前日にお知らせが届きますので活用ください。

なお、通知が溜まると新しい通知が止まりますので、お知らせに表示される「詳細はこちら」は、毎回必ずタップしてください。

今後も、患者さんによりスマートに診療を受けていただけるよう、システムの更新を随時行ってまいりますので、ぜひご利用ください。



スマートフォンで簡単登録！



サービス機能追加のお知らせ

2024年 2月 採血室 患者呼出機能追加

2024年 11月 トークン超過の注意喚起ポップアップ追加

LINEを利用した
診察・会計の
流れはこちら



※LINE および LINE ロゴは LINE ヤフー株式会社の登録商標です。※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

「LINE」を利用すると、混雑しているところで待つことなくゆったりと過ごせます！

登録
ステップ

①登録用QRコードを
読み取ります。



画面の案内にしたがって
進めてください。

②友だち追加を
します。



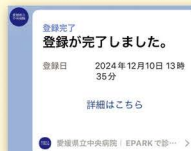
③患者登録をします。



受付票に記載の「受付
番号」と診察券に記載
の「診察券番号」「生年
月日」を入力してくだ
さい。

※当日のみ、受付番号
だけの利用も可能です。

▼登録完了画面



④診察・会計のお呼び出しの通知が LINE に届きます。



2024年2月運用開始



注意

「詳細はこちら」を必ずタップし
て確認してください。

「詳細はこちら」を開かず5回の通知が続くと、以後のLINEメッセージが届かなくなり
ますのでご注意ください。

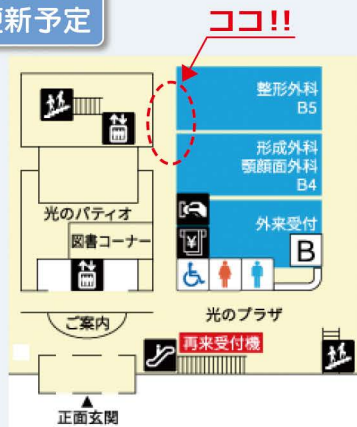


2024年11月運用開始

「愛媛の医偉人」コーナーのご紹介

皆さんは、医療界で有名な愛媛に縁のある偉人をご存知ですか。このコーナーでは、そんな「愛媛の医偉人」を取り上げ紹介していきます。院内の総合案内から図書コーナーに進んださらに先の壁に特設パネルを設置していますので、是非ご覧ください。

不定期で
更新予定



あおち りんそう 青地 林宗

(1775 年～1833 年)

肖像画（米田眞澄筆）：
『我国物理学の創始者 贈従五位
青地林宗先生伝』より



松山市出身。
江戸の蘭学者、教育者として有名だが、もともとは松山の藩医。
幼年時から、父快庵から漢方医学を習得し、26歳から5年間、松山で藩医を務めた。その前後、江戸・長崎・大阪で蘭医学・天文学を学んだが、不明な点も多い。

47歳、幕府の天文台訳員となり、数多くの蘭書（西洋の地理学・医学・化学・物理学などの学術書）の翻訳に従事し、日本物理学の祖とされた。彼の訳した『気海観瀾』が、日本最初の物理学書の刊本で、物性をはじめ光、電気、気象などについて略説しており、以後の日本の物理学に果たした役割が大きかったからである。

彼は、蘭学研究を最上の楽しみとし、蘭書の訳述を使命として精励、倦むことがなかった。人付き合いが嫌い、教授が嫌いで、医者を開業しても一向に流行らなかった。

No.57

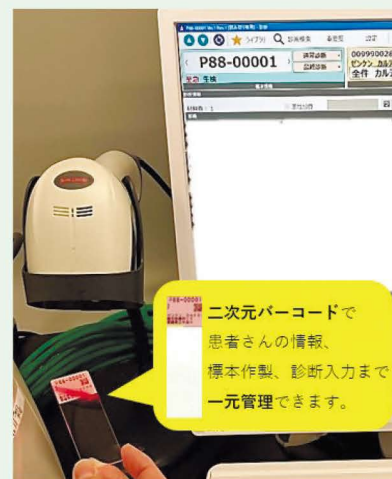
医療安全管理部だより

安全な検査が実施できるように ー病理検査のデジタル化ー

病理検査では、手術等で摘出された体の一部を標本にし、作製された標本は病理医によって病理診断が行われます。病理検査は他分野に比べ自動化が進んでいません。そのため記載ミス等による「検体取り違い」の可能性がありました。

この度、当院にカセット・スライドプリンターが導入されたことにより、患者さんに関する情報などを二次元バーコードで一元管理することが可能となりました。この導入により、手書き記載の減少や、検体認証が一部自動化となり、「検体取り違い」のリスク軽減になりました。これからも患者さんに安心・安全な医療が提供できるよう検査を進めてまいります。

※画像はシステム管理用の
架空患者さんの画像



転入・転出医師 (2024.12.1～2025.3.15)

▶ 転入

所属	氏名	専門
産婦人科	河端 大輔	専攻医

▶ 転出

所属	氏名
産婦人科	城戸 香乃
血液内科	森 悠記
循環器内科	青野 哲哉

連携医療機関紹介 ～第37回～

医療法人佑来会 あずま泌尿器科クリニック

- 所在地 松山市竹原町1丁目10-10
- TEL 089-943-2200 ■FAX 089-943-2290
- 診療科目 泌尿器科・人工透析
- 病床数 19床 ■外来診療時間 休診日 火木土曜午後・土曜(第4)・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付は8:30～12:00)	○	○	○	○	○	○	×
14:00～17:30	○	×	○	×	○	×	×

【病院の概要】2020年4月に松山コミュニティセンター南側、FM愛媛東側に位置する旧北上放射線内科を医療継承し開業致しました。現在、泌尿器科外来を中心に、入院19床、透析ベッド23床、リハビリテーション、施設への訪問診療、訪問リハビリと、地域に密着した医療を行っています。

【病院の特徴】泌尿器科専門医・透析専門医として診療する傍ら、腎リハビリテーションの必要性を感じ、リハビリ室を開設致しました。現在PT2名OT1名を配置し、患者様のQOLの向上を目指して一丸となってリハビリを行っています。外来では、ペットロボットの「ぼんざぶ」が自らの意志で歩きまわり患者様を癒やし、あちらこちらに猫の写真等が飾ってあり、診療が少しでもリラックスできるように工夫しております。「病気をみるのではなく、患者様を診る」をモットーに診療し、常に笑顔を保ち、患者様が「来てよかった」と満足して帰って頂けるよう、スタッフ一同が自然体で接することができる医院を目指しています。



眞柴消化器内科クリニック

- 所在地 松山市来住町1390-6
- TEL 089-968-1202 ■FAX 089-968-1272
- 診療科目 消化器内科・内科
- 外来診療時間 休診日 土曜(第1・3・5)・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土※	日
8:30～12:00 (受付は11:30まで)	○	○	○	○	○	○	×
13:30～17:30 (受付は17:00まで)	○	○	○	○	○	△ 17:00まで	×

※第2・4土曜日のみ診療

【病院の概要】2024年11月1日に来住町で新規開業いたしました。農免道路から東に少し入った場所に位置しており、同じ通りに他の診療科のクリニックも並んでいます。

【病院の特徴】患者さんにとって身近なかかりつけの内科として、気軽に受診していただけるクリニックにしていきたいと思っています。一般内科の診療に加え、エコー、内視鏡検査などの消化器検査、また特に肝臓疾患については専門性を生かして診療させていただきます。さらに精密検査や入院加療が必要な場合には、県立中央病院をはじめとした地域の基幹病院と速やかに連携しつつ、患者さんに安心して診療を受けていただけるよう努める所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

